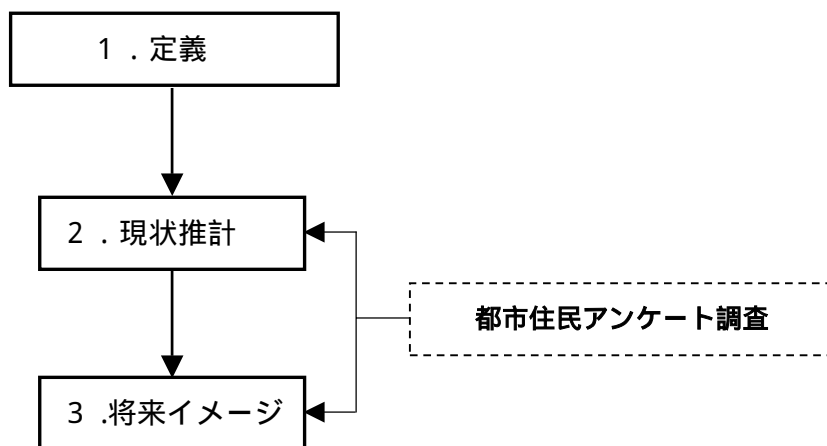


「二地域居住人口」のアンケート調査の概要

現状の二地域居住人口を推計するにあたって、最初に二地域居住の定義（都市及び農山漁村等の範囲）を整理する必要がある。なお、現状推計等にあたっては、既存の統計資料等を参考にするとともに、都市住民に対する二地域居住の実態・ニーズ把握のためのアンケート調査（以下、都市住民アンケート調査という）を平成 16 年 12 月に実施した。

図表 1 分析の流れ



1. 調査に係る各事項の定義

分析にあたり、都市、農山漁村等及び二地域居住の定義は以下のとおりとした。

都市の定義（範囲）：都市の定義については、中核市の要件の一つとなっている「人口 30 万人以上」の都市（東京特別区を含む）を基本とした。

なお、「都市住民」とは、上記都市域に居住するものをいう。

図表 2 都市の人口・15 歳以上人口・世帯数

| | 総人口 (H12年) | 15-79歳人口 ^{*2} (H12年) | 世帯数 (H12年) |
|--|---------------|----------------------------------|---------------|
| 人口30万人以上の都市 ^{*1} (東京特別区含む) | 51,131,041 | 42,413,746 | 20,953,099 |
| 全国計 | 126,925,843 | 103,565,920 | 47,062,743 |

パーセント表示は各項目の対全国比を示す

*1 人口30万人以上の都市は、H16年12月10日現在までの合併を反映させている。

*2 年齢不詳人口を既知の年齢構造に基づき按分補正した値である。

（資料：「平成 12 年国勢調査」総務省統計局）

農山漁村等の定義（範囲）：上記の都市を除く地域。

二地域居住の定義：「二地域居住」とは、都市住民が、本人や家族のニーズ等に応じて、多様なライフスタイルを実現するための手段の一つとして、農山漁村等の同一地域において、中長期、定期的・反復的に滞在すること等により、当該地域社会と一定の関係を持ちつつ、都市の住居に加えた生活拠点を持つこと。

(説明)

-)「中長期」とは、1～3ヶ月程度のある程度長い期間滞在すること。
-)「定期的・反復的」とは、例えば、「毎月3日以上で年間を通すと1ヶ月以上の期間は滞在する場合」、または、「年間の滞在期間が1ヶ月に満たない場合であっても、継続年数が5年以上に及ぶ場合」。
-)「当該地域社会と一定の関係」とは、住宅等（持ち家、借家等を問わない）に対する需要や医療等の生活関連サービスの消費需要、地域のコミュニティ活動や地域文化活動との係わり等が存在すること。
-)上記の関連から、単純な昼間人口（通勤者、通学者）は含まれない。

2. アンケート調査の回収状況

| |
|--|
| アンケート調査では、10,617人から回答を得た。そのうち、重複回答や、滞在先が不明または海外の回答など126の無効回答があり、有効回答は10,491であった。 |
|--|